地域医療連携室機関紙　令和５年12月発行

れんけい renkei

vol.90

公益財団法人仙台市医療センター仙台オープン病院　地域医療連携室
〒983-0824 仙台市宮城野区鶴ヶ谷５丁目22-1
TEL:022-252-1111(代表) FAX:022-252-1126(連携室直通)
URL:http://www.openhp.or.jp e-mail:renkei@openhp.or.jp

【仙台オープン病院 理念】

思いやりのある心で信頼される優れた医療を提供します。

令和5年度　登録医会秋季勉強会

令和5年11月8日(水)19時
ホテルメトロポリタン仙台

感染症の脅威に対する平時からの備えの重要性について

塩野義製薬株式会社　代表取締役会長兼社長 CEO　**手代木　功**

＜SHIONOGI の感染症へのコミットメント＞

当社は、60 年以上にわたり感染症薬の研究開発に取り組んできました。1990 年代に多くの企業が市場の縮小を理由に感染症領域から撤退する中で、当社が感染症の研究開発を止めてしまったら、新たな感染症に対峙できる国内企業が無くなってしまうと考え、社会のために感染症にコミットし続けることを決断し、研究開発を続けてきました。

＜COVID-19 の早期終息に向けて＞

COVID-19 パンデミックにおいては、当社は会社の存在意義をかけて治療薬とワクチンの開発に最優先で取り組みました。当社の組み換えタンパクワクチンは、mRNA ワクチンと同様に、新しい技術のワクチンとして日本国内で開発と生産ができるようにしておくことが、次のパンデミックに備える上でも重要です。

治療薬に関しては、米国ではパキロビッドやラゲブリオなどの経口抗ウイルス薬が EUA（緊急使用許可）を取得しました。これらの薬は、国家の緊急事態に対して国民の命を救うため、予防ワクチン未接種の重症化リスク因子を有する患者に対して臨床試験が実施され、入院や死亡を抑制するという結果を示しました。一方で、当社のゾコーバは、日本で先生方に処方いただく環境を念頭に、リスク因子の有無に関わらず、主にワクチン接種済みの方を対象に試験を行いました。そして、そのような患者層において、プラセボ群と比較して有意な症状の改善を示したのは、世界でもゾコーバのみです。

パンデミック下の臨床試験は、先生方を含む多くの皆さまのご協力により完遂することができました。現在も COVID-19 治療薬やワクチンの開発を一生懸命続けている会社は当社以外にはなく、今後もこの分野での取り組みを続けていくつもりです。

＜パンデミックから得られた学び～平時からの備えの重要性～＞

地球規模で人の往来が拡大し続ける中で、今後もパンデミックは必然的に発生します。一方で、急性感染症は、流行など外部要因に大きな影響を受ける非常に不安定なビジネスです。そのため、プル型インセンティブ（サブスクリプションなど）の導入など、安定してビジネスを行える環境の整備が必要です。当社が今後も感染症領域の研究・開発・生産を続けていくためには、社会からのサポートが必要不可欠です。その上で、感染症に強い国づくりに少しでも貢献していきたいと考えています。

登録医の声

おおひら内科クリニック　　大平 哲也 先生

令和５年４月より青葉区の二日町で継承開業した大平哲也と申します。私は仙台オープン病院に平成 15 年に研修医として入職しました。当時は敷地内にテニスコートがあった時代で、研修医制度もなかったおだやかな時代でした。日常臨床は激務でしたが周りの方々に恵まれあっという間に 20 年の歳月が経ちました。在任中は消化管グループの一員として上下部内視鏡診断・治療（大腸ポリープ切除術・粘膜下層剥離術など）、潰瘍性大腸炎やクローン病などの炎症性腸疾患の治療を中心に診療させていただき、多くの登録医の先生にお世話になりました。

現在は環境が大きく変わり、高血圧症・糖尿病などの生活習慣病の診断・治療が中心になっておりますが、少しでも内視鏡診療に従事したいと考えFUJI の経鼻内視鏡 2 本（EG-840N）、下部消化管内視鏡（EC-760ZP-N/M）を導入し、内視鏡診療も行っております。開業した 4 月は COVID-19 の第 8 波も落ち着いており穏やかなスタートを切れましたが、今は第 9 波＋インフルエンザの患者さんが増加しており、官庁や大学なども近いためか発熱外来が溢れかえっております。早く日常を取り戻す事を祈りながら、少しでも地域医療に貢献していきたいと思っております。これからは新米 OB として少しでもオープン病院の力になれるように頑張りたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

おおひら内科クリニック
〒980-0802
宮城県仙台市青葉区二日町16-27
大平 哲也

呼吸器外科外来の開始について

この度、10 月より新たに呼吸器外科外来を開始する運びとなりました。

1．担 当 医：菅原　崇史（東北医科薬科大学呼吸器外科准教授）

2．診察日時：第 2・第 4 月曜日　9：00 ～ 12：30

3．対象疾患：肺腫瘍、縦隔腫瘍、胸壁・胸膜腫瘍など

東北医科薬科大学病院と連携し診断・治療させていただきます。
よろしくお願いいたします。

第 13 回仙台オープン病院医局 OB 会の開催について

令和 5 年 10 月 21 日（土）第 13 回仙台オープン病院医局 OB 会が行われました。新型コロナウイルスの影響を受け、例年開催を断念していましたが、実に 4 年ぶりに開催することができました。当日は多くの先生方にご参加いただき、終始盛り上がりをみせる有意義な会となりました。

お知らせ　登録医の先生方へ

年末年始の連携室業務について

地域医療連携室では、令和5年12月29日(金)から令和6年1月3日(水)は年末年始のため地域医療連携室業務をお休みさせていただきます。

登録医の先生方には、大変ご迷惑とご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解とご協力をお願いいたします。

仙台オープン病院外来診療スケジュール

先生方からご紹介いただく患者さんは毎日受付しております。救急センターは24時間受け入れしております。

令和５年１２月１日より

		月	火	水	木	金
消化管・肝胆膵内科	消化管	清水　孟	佐藤宏樹	嶋田奉広	駒林大智	山形　拓
	肝胆膵	伊藤　啓 楠瀬寛顕	菅野良秀 小堺史郷	與那嶺圭輔 宮本和明	越田真介 酒井利隆	小川貴央 岡野春香
循環器内科		牛込亮一 小野寺健太 （午後１時～３時） 野田一樹 （新患担当）	浪打成人 野田一樹 瀧井暢 （新患担当）	尾形剛 谷田篤史 （新患担当）	瀧井暢 砂村慎一郎 浪打成人 （新患担当）	谷田篤史 砂村慎一郎 （新患担当）
呼吸器内科		飯島秀弥	進藤百合子 洞口亮 （第2、4）	飯島秀弥		進藤百合子
消化器外科 一般外科		阿部友哉 橘　知睦	岡田恭穂 有明恭平	土屋　誉 中山　瞬	柄田徹也 市川英孝	及川昌也 赤澤直也
心臓血管外科		吉田聖二郎 （午前９時～11時）			吉田聖二郎 （午前９時～12時） 新田能郎 （午後１時～３時30分）	
呼吸器外科		東北医科薬科大学病院 菅原崇史 （第2、4）				
緩和ケア 入棟相談				進藤百合子		
化学療法科			東北大学病院 高橋雅信／西條憲 （第1、3、5）/（第2、4）		東北大学病院 小峰啓吾／今井源 （第1、3、5）/（第2、4）	
スキンケア外来 （予約制）				担当チーム （午後１時～）		

※乳腺外来は休診いたします。

受付時間　午前8時30分～午前11時

● 検査・入院などのご予約について ‥‥総合サポートセンター

代　表　番　号　TEL 022−252−1111　FAX 022−252−1126
（登録医予約専用）　TEL 022−252−5755　FAX 022−252−1126
※登録医予約専用ダイヤルは平日 18:00 まで、土曜日 9:00 ～ 13:00

※診察・検査につきましては事前に予約されている場合でも、当日の外来状況により待ち時間が発生することがございます。
何卒、ご理解、ご了承願います。

● 緊急な患者さんをご依頼の場合 ‥‥‥救急センター

TEL 022−252−0100　FAX 022−252−0264（救急受付直通）

URL http://www.openhp.or.jp　E-mail renkei@openhp.or.jp

● 編集委員　伊藤　啓、　武沢　弘輝、　大原　麻子、　丹野　寛子、　後藤　圭佑、　丹野　璃紗、　峠　淳子